

2023 年（令和 5 年）度 星槎大学・大学院 入学式
学長式辞

昨日の夜中の嵐が嘘のように晴れ上がり、新入生の皆さま方を祝福しています。

春の穏やかな日に、令和 5 年度 星槎大学・大学院入学式が挙行されますことを大変うれしく思います。

ただいま、入学許可を行いました。令和 5 年 4 月 5 日現在の入学者は、昨年の 10 月生を含めまして、星槎大学共生科学部正科生 933 名、科目等履修生 786 名、大学院教育学研究科修士課程 35 名、同博士後期課程 2 名、教育実践研究科 20 名です。

改めまして、皆さま方、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さま、ご家族の皆さま、おめでとうございます。

星槎大学は 2004 年に開学し、今年で 19 年目を迎えました。

創設者である宮澤保夫名誉会長が

「人を認める」

「人を排除しない」

「仲間を作る」という三つの約束を基にして開学しました。

名誉会長は「教育は『発見と動機付け』である。これは、幼児でも、小中学生でも、大学や大学院でも同じである。」と仰っていました。私どもは皆さん方が、一步前に踏み出す伴走者として、お手伝いをしていきたいと思えます。

今、私は、横浜市青葉区さつきが丘の横浜事務局の 205 教室から配信していますが、皆さま方は自宅や職場などで参加されています。北は北海道から南は沖縄まで、全国から入学していただいています。

このような大学・大学院は唯一無二と言っても過言ではありません。

スクーリングで横浜事務局や横浜キャンパス、全国の SC 会場に集い、全国の同じ志の皆さまと語りあい、切磋琢磨していただきたいと思えます。

「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」ことを教育理念とし、

「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」

「共生する心の耕作」

「課題探究能力の育成」

「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育の目的としています。

さて、2023 年は、1923 年の大正関東地震（M7.9）からちょうど 100 年、その前の元禄関東地震が 1703 年ですので、220 年間隔なのかどうか？ まだ 100 年だから大丈夫？ 大正関東地震では、房総半島沖の東側は震源域から外れていたため、エネルギーが溜まっていて、解放

しそうと考えるか？ どうでしょう？ 新入生の皆さんはどのように考えますか？ そして、いざというときにどのように生き延び、社会貢献できるか？ 研究してみませんか？

21世紀も四半世紀末にさしかかっていますが、これからも混沌とした予測不能な厳しい地球環境、社会が続きます。

インターネットが加速度的に普及し、様々な仕事がAIにとって代わるでしょう。このような時代こそ、教育、福祉、環境、国際関係・グローバルコミュニケーション、スポーツ身体表現などの各分野を横断的に学び「幅広い視野と深い専門性」を身に付け、自らの魅力を高め、社会に貢献できる人になってほしいと願っています。

学生の皆さんの学修、疑問、悩みなどに、ともに解決するよう教職員一同、献身的に支援してまいりますこととお誓い申しまして、式辞といたします。

2023年（令和5年）4月8日
星槎大学 学長
西村哲雄